



TITLE:

# 表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第9号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第9号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要  
1984, 30(9): 1356-1356

ISSUE DATE:

1984-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118261>

RIGHT:

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 30 巻 第 9 号 1984 年 9 月

## Mitomycin C, Cytosine arabinoside 併用による

膀胱腫瘍の腔内注入療法の成績と意義……………松田 稔・ほか…1145

表在性膀胱腫瘍に対する Aclacinomycin-A (ACM)

の膀胱内注入療法……………野口 純男・ほか…1153

膀胱癌に対する RaHPP 療法……………和志田裕人・ほか…1159

転移を有する腎癌に対する Cis-diamminedichloroplatinum

を中心とした併用化学療法……………奥村 哲・ほか…1167

尿路性器悪性腫瘍に対する Cis-diamminedichloroplatinum

の使用経験……………内田 豊昭・ほか…1173

恥骨上式前立腺摘出術に関する 1 考察……………野口 和美・ほか…1185

前立腺癌における針吸引生検の評価……………藤岡 知昭・ほか…1189

DDP のラット精上皮への影響……………後藤 修一・ほか…1195

男子不妊症患者の血中セロトニン値について(英文)……………石川 博通・武島 仁…1201

誘発筋電図法による球海綿体反射の検討……………米田 勝紀・ほか…1207

## Cirroid type 先天性腎動静脈奇型

— 2 治験例と本邦74症例についての考察 —……………平賀 聖悟・ほか…1213

珊瑚状結石に合併した腎腺腫の 1 例……………福岡 洋・ほか…1225

先天性多囊腎の 7 例 —特にその発生に関する考察……………信野祐一郎・ほか…1231

慢性透析患者に発生した腎細胞癌の 2 例……………高原 正信・ほか…1239

萎縮膀胱をともなう原発性両側膀胱尿管逆流現象の

小児に対する Cohen 法の適応……………進藤 和彦・ほか…1245

異所性尿管瘤の 1 例……………西村 泰司・ほか…1251

尿管癌の 3 例 —本邦 237 例の臨床統計—……………奥村 哲・ほか…1255

対側腎無形成をともなった精囊嚢胞の 1 例……………島村 正喜・ほか…1263

精索悪性線維性組織球腫の 1 例……………村山 和夫・ほか…1269

両側生殖細胞性睾丸腫瘍の自験 3 症例と

本邦報告例の臨床的検討……………恒川 琢司・ほか…1275

転移巣で成熟化のみられた、左右の組織を異にする

両側精細胞性睾丸腫瘍の 1 例……………浅野 清豪・ほか…1285

ハエ蛆症を合併した自己陰茎切断の 1 例……………富田 雅乃・ほか…1293

DL-8280 の前立腺組織ならびに前立腺液移行……………公文 裕已・ほか…1297

複雑性尿路感染症に対する DL-8280 の薬効評価

—Pipemidic acid との二重盲検比較試験—……………岸 洋一・ほか…1307

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
    - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または 山田・ほか。)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
    - (ロ) 英文抄録：本文とは別に標題、著者名、所属機関名、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲 載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷
 

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重	新谷 浩
吉田 修(主 幹)	